



山梨大学 新技術情報クラブ

～インフォメーション～

【第 26-6 号】

本メールマガジンは山梨大学 新技術情報クラブ会員の皆様へ
最新情報をお知らせする目的で配信しております。

メール配信を希望されない方は、「配信停止」とお書きの上、ご返信ください。

目次

- 01: 研究者による企業訪問
- 02: イベント情報
- 03: プレス情報



01: 山梨大学研究者が会員企業様をご訪問します！

山梨大学で日々研究している技術の知識や情報を活用していただきたく、
山梨大学の研究者と共に皆様の会社を是非訪問させていただければと思い、
先日、訪問に関するアンケートをメール送信させていただいております。

※ 個人会員様におかれましては、
ご要望等ございましたらお気軽にご連絡ください。

訪問日調整や研究者選定に進めさせていただくため、
アンケートの回答期限を12月10日までに設定させていただいております。

お忙しいところ大変お手数をおかけしますが、

アンケートにご回答いただけてない際は、
お手数ですがアンケートにご記入いただき返信願います。

どうぞよろしく願いいたします。



■02: イベント情報

【開催予定イベント】

◆ 国際・大学知財本部コンソーシアム (UCIP) 新技術説明会 in JST

国際・大学知財本部コンソーシアム (UCIP) は、9 大学が加盟する大学間ネットワークで、
知的財産の国際的な活用を通して、研究及び大学知財の高度活用を図るものです。

今回の新技術説明会では、UCIP 加盟 9 大学のうち、

新潟大学、千葉大学、芝浦工業大学、埼玉大学、山梨大学の 5 大学から、

【材料分野】において、ライセンス・共同研究可能な技術（未公開特許含む）を発明者自
らが発表し、

その場でご相談も受け付けます。

日時：12月16日（火）13：00～17：15

場所：東京・市ヶ谷

JST 東京本部別館ホール

出展技術：1. 太陽光を利用した水素製造ー可視光全域利用に向けた取り組みー

2. シクロデキストリンと蛍光タンパク質の簡便で効率的な複合体形成とその

応用

3. 幻の香り龍涎香の主成分アンブレインの酵素合成

4. レーザー誘起プラズマによる振動・音響試験法

5. サイズの均一な黒色高分子微粒子の低環境負荷型調製

6. エマルションを用いた有機ハイドライド直接電解合成法

7. 蛍光の変化を利用した酵素活性測定基質の調整と利用

詳細はこちらをご確認ください。

<http://jstshingi.jp/ucip/2014/>

出展技術のなかで、ご興味のある技術がございましたら、
お気軽にご連絡ください。



■03:プレス情報

◆ 近藤英一教授が平成26年度「科研費」審査委員表彰を受賞

近藤英一教授（大学院総合研究部 工学域 物質科学系）が、
（独）日本学術振興会の平成26年度科学研究費助成事業（科研費）
の審査委員表彰を受賞しました。

日本学術振興会では、科研費の審査終了後、審査の検証を行い、
第2段審査（合議審査）に有意義な審査意見を付した
第1段審査（書面審査）委員を表彰しています。

今年度は約5,300名の第1段審査委員の中から170名が表彰されました。

【日本学術振興会のホームページ】

<http://www.jsps.go.jp/index.html>

【日本学術振興会 審査委員の表彰について】

http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/26_hyosho/index.html

◆ 古屋文彦助教が第43回七條賞を受賞

医学部内科学講座第3教室（第三内科）の古屋文彦助教が第43回七條賞を受賞し、平成26年11月13日（木）～15日（土）に開催された第57回日本甲状腺学会学術集会において授賞式と記念講演が行われました。

同賞は昭和47年に設立された歴史ある賞で、甲状腺学の分野における優れた研究業績を有する45歳未満の研究者に対して与えられるものです。受賞の対象論文は、*Journal of Biological Chemistry*（JBC）に掲載された”*Liganded thyroid hormone receptor-alpha enhances proliferation of pancreatic beta-cells*”（「*膵β細胞の自己複製における甲状腺ホルモン受容体の作用の解明*」）及び”*Ligand-bound thyroid hormone receptor contributes to reprogramming of pancreatic acinar cells into insulin-producing cells*”（「*甲状腺ホルモン受容体は膵腺房細胞をインスリン産生細胞へリプログラミングする*」）で、これらの研究によって、膵β細胞の分化や複製に甲状腺ホルモン受容体蛋白が作用していることが明らかになりました。

受賞した古屋助教は、「歴史ある賞をいただき、身に余る光栄です。錚々たる歴代受賞者の先生方の名を穢さないよう さらに精進していきたいと思います。」と話しています。

関連HP

日本甲状腺学会HP：<http://www.japanthyroid.jp/>

第57回日本甲状腺学会学術集会HP：<http://www.congre.co.jp/thyroid57/>



▼ 連絡先

国立大学法人山梨大学
社会連携・研究支援機構

社会連携・知財管理センター

新技術情報クラブ事務局

TEL:055-220-8758

FAX:055-220-8757

renkei-as@yamanashi.ac.jp



- 1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。
- 2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。